第 42 回那覇市少年の主張大会

7月6日(木)午後より、那覇市牧志駅前ほしぞら公民館に於いて、那覇市青少年健全育成市民会議(長堂和男会長)主催の第４２回「那覇市少年の主張大会」が開催されました。本大会は、A社会や世界に向けての意見、未来への希望や提言等、B家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達の関わり等、Cテレビや新聞などで報道されている少年・少女の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や提言等以上の３つのいずれかに該当する心からの思いや考えたこと、感銘を受けたことなどを、中学生らしい自由でユニークな発想、飾り気のない言葉でまとめたものを発表する場です。今回、那覇市内の十七校から各学校の代表生徒が集いました。本校からは、3年1組の垣花葉希（かきはなはづき）さんが『「好き」をみつける』の演題で発表を行いました。本番は、練習以上に落ち着いて、発表していました。

優良賞受賞

千載一遇（せんざいいちぐう）

松城中学校
７月　７号
発行
校長　宮城裕子

保護司会朝の挨拶運動

7月3日～7日までの一週間、那覇保護区保護司会真和志支部から「社会を明るくする運動」の一環として**朝の挨拶運動**を実施しました。本校校区内在住の大内智博さま他一名で早朝から本校正門に立って頂きました。地域の方が直に本校生徒との関わりを持つ機会として、また松城中の生徒が気持ちの良い返礼をしてくれることが嬉しそうでした。「いい生徒さん達ですね」とのお言葉をいただき、校長も大変気持ちのいい朝が迎えられました。生徒たちに「感謝」です。

さて、挨拶は強要されてするものでもなく、また強要するものでもありません。

昔々、**あいさつは「敵ではない」ことを示す合図**であったということを知っていましたか？

確かに「敵をつくらない」ために挨拶を交わすのであれば、挨拶をして損をすることはありませんね。社会的にはマナーとして第一印象◎のバロメーターとなります。より良い習慣にしましょう。